



やまゆり通信

VOL.26

令和 4年8月31日

天竜やまゆり保護者会
会長 曾根 担当 川井

残暑お見舞い申し上げます。

平素は保護者会へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。とどまることを知らぬコロナ禍も3年が過ぎました。病棟のスタッフの感染等は数件ありましたが子供達への罹患はございません。スタッフ家族の罹患による濃厚接触等で病棟への勤務が妨げられスタッフ人数が少人数となった時期もあります。が、今は落ち着きを取り戻そうとしております。今後も引き続き病棟・療育スタッフとの連絡は密に取って行きたいと思っております。

♪曾根会長より♪

暑い日々が続きますが、皆様お変わりございませんか。

感染状況を垣間見ながらの森の家にて9月の三国療についての打ち合わせを兼ねて定例会開催(7月)。

今の感染状況を鑑みて

9月11日(日)の三国療は、来年に延期致します。

子供たちの心配や抱える不安を共有したり、今後の課題への討論、1、2病棟の児童指導員藤森豊先生の講演を予定しておりました。行事が思うように開催できない今、保護者会として何が出来るかを引き続き模索しております。そして、療育指導室のスタッフも同様です。皆さんもご意見がありましたら是非よろしく願いいたします。面会ができる日まで、保護者は健康に留意し元気に日々を過ごす事、子供たちのためにがんばりましょう。

病棟医療スタッフ、療育指導室スタッフの皆様、病棟の子供たちのためにご尽力頂き心より感謝申し上げます。皆が寄り添い、より豊かな子供たちの生活の質や療育がなされることを切に願います。

病棟では、リモート面会開催中です。

♪病棟に予約して、画面越しに子供たちに会いましょう♪

天竜やまゆり保護者会の皆様へ

『療育指導科からのご報告』

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

残念ながら令和4年度も”感染防止”に始まり、はや4か月が過ぎてしまいました。特にこの間は全国的な感染者の増加により、当院においても気が抜けない日々が続いております。厳しい中におきましても”患者様の感染を防ぐ”を最優先とし、病院長、病棟医をはじめ、全ての職員が一丸となって”感染防止”ならびに”健康維持”に取り組んでおります。

療育面に関しては、感染対策上、大勢集まっの活動や行事はできませんが、小集団や患者様との一対一での係わりの中で、楽しい活動を行う事はできています。以下、幾つかご報告します。

4月は「お花見散歩」、5月は「新緑散歩」を主に行いました。各病棟共、天候の良い日ほぼ毎日、散歩活動を行う事ができました。医師や看護師の協力のもと、人工呼吸器を使われている患者様も含めて、多くの患者様が複数回、参加することができました。

7月は「七夕」行事を行いました。各病棟とも、病室を中心に行い、「七夕」の雰囲気を楽しんで頂きました。今年は磁石を使った”星”釣りゲームを行い、多くの患者様に笑顔が見られました。7月中旬頃から8月にかけては主に病室単位で「スヌーズレン」活動を行いました。少しでも”夏”らしさを感じていただけるよう、星空や花火の映像等を楽しんで頂きました。特に花火の映写場面では、より臨場感を出すために音響面にも配慮し、患者様は声を出されたり、手足を動かされたりして”夏”を楽しまれました。

今後、制約はありますが、しっかりと感染対策、安全対策を講じながら、お一人お一人の患者様に季節の移ろいを感じて頂きながら、心から楽しんでいただける行事や療育活動を行って行きたいと思っております。

9月下旬からは「秋の散歩」を全患者様を対象に行う予定です !!!

令和4年9月1日
療育指導課 藤森

7月10日(日)定例会 11時より 浜北森林公園 森の家にて開催

【三国療のテーマ案】

- ① 成年後見人制度について・・・親亡き後に誰に依頼したらよいか。依頼する人の人選と手続き方法は？
- ② 障害のある子と親の人生計画
- ③ 親亡き後、障害のある子が幸せに暮らすために、今、親がやるべきこと。
- ④ コロナ禍での 1.2 病棟の過ごし方は、どうなっているか。

要望や意見

- 子供の担当看護師より、様子等を月に一度でいいから聞きたい。
- 着替え等、まめにしてほしい。(お風呂の時のみの着替えは少ない)
- 直接面会を1日1組、別室でよいかから実施してほしい。3年間我慢は長すぎる。
- 夏祭りや秋祭り等のイベントでの、保護者会よりの協力を是非させてもらいたい。
- 今後の面会方法について・・・アクリル板・ビニールカーテン・部屋の消毒等
～保護者会より協力できる事は病院と協議して準備していったらどうか～
- おやつ等の差し入れ。栄養科との連携で材料の提供も試案したらどうか。
- 定例会時に、病院より今後の見通しや病棟の様子等、生の声を聞きたい。
- 成年後見制度や、未成年の児童福祉の仕組み等、詳しく説明してほしい。

.....
～編集後記～

縁あって天竜病院看護助手として勤務する事、半年経ちました。1.2 病棟ではなく違う病棟です。マンパワー不足の中、感染対策を万全にしながら患者さんのために懸命に働くスタッフの姿を見てきました。頭が下がる思いです。親の立場からすれば心配は募りますが子供達のお世話を下さるのはスタッフです。当たり前かもしれませんが、当たりの事ほど大切な事はないと思います。廊下、更衣室等で 1.2 病棟のスタッフに出くわしたりする時に、病棟や子供達の様子を聞くと、皆、すこぶる元気だそうです。少ない人員の中でも、午前午後に分けてお風呂にいらして頂いたり、これこそ子供たちを思うスタッフの思いではないでしょうか。今後、コロナ禍がどのように変わっていくかは未知ですが、入所者の生活の質を応援し、保護者も心身ともに健康でいることが大切な事だと思います。今回、成田主任児童指導員に代わり藤森指導員のご協力を得て やまゆり通信が刊行されます。感謝いたします。

川井